

予算を問う

一般会計予算議案に対する討論【要旨】

各会派等が、一定のスペースで自由にまとめたものを掲載しています。

3月23日の本会議で令和8年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。紙面の都合上、実際の討論と異なる順番で掲載しています。自由民主党国分寺、立憲・市民フォーラム、公明党、国分寺・生活者ネットワーク、無会派（れいわ新選組）、無会派（子どもの未来）、無会派（日本共産党国分寺市議団）、無会派（日本維新の会）の順で行いました。

録画配信はこちらから
(5月31日まで)

賛成

健全財政と中学校給食等の主要施策を評価

令和8年度一般会計の予算総額は前年度に対し約31億6千万円増の637億余となり過去最大規模となりましたが、財政調整基金を取り崩すことなく収支均衡を維持した予算編成を高く評価いたします。給与改定の実態を反映し、将来の基金残高が大幅に低下する厳しい現実を可視化した経営姿勢は誠実なものであります。しかしながら今年度の本市の経常収支比率は96.4%と推計され高い水準にあることや、ふるさと納税による歳入流出を重く受け止めなければなりません。今後は将来負担の抑制に努め、公共施設の長寿命化を計画的に進めることが不可欠であります。生成AIの活用や既存事業の「選択と集中」を徹底し、持続可能な財政運営を実現していくことを強く期待します。

主要施策について

「子どもを育み学びがつながるまち」では、自民党会派が要望してきた「温かい中学校給食」を保温食缶方式で実現した市長の英断を高く評価いたします。給食の提供は生徒たちの健やか

な成長に大きく寄与するものと考えます。子ども誰でも通園制度や小学生の朝の居場所づくりなど、子育て環境の整備が充実することを期待します。西部地区拠点親子ひろばでの一時預かり事業等、すべての子どもの育ちを応援する取組を評価します。待機児童対策や学童保育所の狭あい状況の解消は喫緊の課題であり、着実な執行を求めます。豊かな学びの環境整備の推進を強く願います。「活気あふれる成長のまち」では、タツノコブ口との連携による魅力発信や都市農業への支援継続を評価します。観光大使による情報発信やテーマ型交流カフェなど、本市の魅力を高める施策に期待するとともに地域経済の活性化を強く要望いたします。

「自分らしくいきいき暮らせるまち」では、補聴器購入助成や認知症検診の実施、避難行動要支援者への個別避難計画作成など、誰一人取り残さない地域共生社会の実現に向けた取組を評価します。障害者の移動支援の拡充も、生活の質の向上に繋がる重要な取組です。高齢者が自



田中 政義

自由民主党国分寺

(賛成5人)

対馬 ふみあき 鳥居 あかね
森田 たかし 田中 政義
新海 栄一

分らしくいきいきと暮らせる環境づくりを一層進めて頂くことを願います。

「安心・安全で快適なまち」では、防犯カメラ設置や防犯用品購入費補助、防災行政無線の更新や消防団活動を支援するアプリ導入などの有事の際の対応力の強化、国分寺駅南口や西国分寺駅北口の駅前エリア整備事業など安全で快適なまちづくりに向けた取組が着実に進められることを期待します。

「未来につながる持続可能なまち」では、LINE公式アカウントの機能拡充や市民課の窓口業務委託により、市民の利便性向上と事務の効率化が進むことを期待します。

本予算はこの他にも多岐に渡って重要な施策や丸山市長の公約が反映されており、中長期的な経営の視点に立ったバランスの良い内容であることを高く評価し賛成討論といたします。

賛成

堅実な財政運営と対話を重視する市政運営を

■丸山市政初年度の予算は、前年度比約31億円増の637億2,391万1千円と過去最大である。■令和13年までの財政フレームの基金については、前年度約50億から約20億円の減少となった。フレーム上の数字とは言え悲観的にならざるをえない。精緻な数字を示していくとの市長答弁もあり、市民へのわかりやすい情報提供を求む。■市報発行に要する経費求人広告欄で不適切な掲載記事が判明した。また、無意識の思い込み・偏見のアンコンシャスバイアスにつながる問題も。税金による広報物であり、細心の注意を払い研修等で庁内での認識を深めるべき。市報などに市の見解を示すことを求めておく。■公共施設包括施設管理に要する経費制度導入から2年経過しその評価に関しては7割以上から成果あるとの答弁。他方、障害者優先調達の視点で包括委託になじまない選択もある。コミュニケーション不足との課題も示された。現場の状況を把握し適切な運用となるような取組を。■複合公共施設の運用等視察経費で公民館・図書館は社会教育法に基づく施設であることを認識したう

えでの視察にあたるように。■女性管理職比率アップのためにも研修は重要。着実に実効性のある研修の継続を求める。昨年開始の管理職試験には多くの職員が挑戦し主体性を感じる。研修や試験制度を契機に行動計画にある管理職の女性比率目標達成を望む。■市民課窓口外部委託化は待ち時間短縮が目的の一つ。民間事業者と同じ職場となるが、職場環境は重要。市民に影響を及ぼさぬように。■障害者・高齢者要配慮者への避難行動要支援者に要する経費で個別避難計画作成への取組は高く評価する。今後拡充に向け段階的な取組を期待する。■ひかりプラザでの一時保育事業開始は高く評価する。共働き家庭と在宅育児家庭との支援のギャップを埋めるべく東部地区での設置も見据え、ニーズ動向を踏まえ拡充に向けた取組を。■協働による取組で20年経過した環境ひろばの見直しは禍根を残さぬよう検討せよ。■ぶんバス料金の値上げ分の活用を「見える化」すべき。値上げは交通空白地域の解消、路線バスとの均衡により公共交通を守ることも目的だ。交通空白地域市民の利用回



皆川 りうこ

立憲・市民フォーラム

(賛成4人)

だて 淳一郎 星 いつろう
はせば 豊子 皆川 りうこ

復を図るためシルバーパス導入の研究・検討を進めるべき。■都市マスや立地適正化計画策定も予定されている中、グランドデザイン策定の事務作業等で、二重投資にならぬように取組んで頂きたい。■行政無線のデジタル化整備により情報伝達の改善が期待される。■50周年を迎えるくぬぎ教室は、知的障害者の方にとって学びや楽しみの場だ。スタッフにとっても障害への理解を深める等大きな役割を果たしてきた。今後の充実を要望する。■食缶方式での温かい中学校給食は市長就任後、速やかに指示し早期に実現できることを高く評価する。■市民プール、並木公民館等公共施設の閉館に伴う活動場所の確保は市民に寄り添った対応を。■デジタルサイネージ等廃止事業複数あり。メリハリのある予算で決断を評価する。委員会では市長自らの考えや取組について発言した。会話や対話を重視する姿勢を貫いていただくことを願う。

賛成

物価高で負担増の市民に市からおカネを！

市の貯金は貯め込まず、借金は恐れず、積極的に財政出動を行うべきだという観点から見て、地方債新規発行が10億円増、基金残高も微減となることは一定評価する。財政優先主義にならないことを求める。市債を活用し防災やバリアフリーの拠点となる学校に投資を。納税者には

生活や権利を尊重した税徴収を。犯罪被害者に経済支援を。生活保護は受給者に寄り添ったしおり改定と人員体制強化を。正規教職員市独自採用検討を。高齢者や障がい者、ひとり親世帯、外国籍住民のため居住支援協議会を。ぶんバスは値下げ検討を。PFAS対応のウォーターサー



高野 ふみお

無会派
(れいわ新選組)

(賛成1人)

高野 ふみお

バーや浄水器を学校に。市報に問題ある広告が掲載された件は謝罪記事を。イラン情勢を受けて市の貯金から全市民へ商品券の緊急追加発行を。

賛成

市民生活を支える積極財政を！

令和8年度一般会計予算は、市民生活を支える施策を着実に盛り込んでいる点を評価し、賛成する。物価高騰の長期化により、市民の暮らしにのしかかる負担は今なお重い。いま自治体財政には、単なる帳尻合わせではなく、市民の幸福を実感として支える積極的な役割が求められ

ている。子育て、教育、福祉、地域交通、健康、安心安全の分野では、必要な支出をためらうべきではない。将来負担を考えるあまり財政出動に消極的になるのではなく、地域経済を発展させるために必要な投資を積極的に行い、豊かな市民生活を支えてゆく視点をさらに明確に打ち



脇村 たいき

無会派
(子どもの未来)

(賛成1人)

脇村 たいき

出すべきである。本予算を出発点として、より積極的で温かい財政運営へ踏み出すことを求め、本議案に賛成する。